

平成17年度

狩猟免許試験実施のおしらせ

(網・わな猟免許、第一種銃猟免許、第二種銃猟免許)

平成17年度の狩猟免許試験が下記日程により実施されます。

また、狩猟免許試験に先立ち、県猟友会が実施する講習会も下記日程で開催されますので受講してください。

狩猟免許試験の日時及び場所

開催月日	曜日	開始時刻	会場名
8月28日	(日)	正午～	和歌山県民文化会館 和歌山市小松原通1-1
			西牟婁総合庁舎 田辺市朝日ヶ丘23-1

猟友会主催の講習会

開催月日	曜日	開始時刻	講習内容	会場名
8月20日 ～ 8月21日 (2日間)	(土) (日)	いずれも 午前9時～	1日目 『学科』 2日目 『実技』	和歌山ビック愛 和歌山市手平2丁目1-2 上富田文化会館 西牟婁郡上富田町朝来758-1

申込締切日 8月5日(金)

受講申込先 日高振興局林務課 TEL 24-2912

作業主任者技能講習

コンクリート橋架設等

日時 8月2日(火)・3日(水) 午前9時～午後5時

受講料 9,800円(テキスト代を含む)

場所 和歌山県勤労福祉会館(プラザホープ)

申込先 建設業労働災害防止協会 和歌山県支部

TEL 073-436-1327

FAX 073-426-3987

定員になり次第締め切ります。

税関では、お預かりしている次の 通貨・証券などをお返ししています。

終戦後、外地から引き揚げて来られた方々が、上陸地の税関又は海運局に預けられた通貨・証券など

外地の集結地において、総領事館や日本人自治会などに預けられた通貨・証券などのうち、その後日本に返還されたもの

お心当たりの方は、税関へお問い合わせください。

ご本人だけでなく、ご家族の方も問い合わせや返還請求することができます。

保管証券返還のご案内は大阪税関ホームページでもご覧いただけます。

大阪税関ホームページアドレス
<http://www.osaka-customs.go.jp>

お問い合わせ先

大阪税関 監視部 総括部門

〒552-0022

大阪市港区海岸通2-1-4

TEL 06-6576-3115

受付時間 9時～17時

(土、日、祝日を除く)

大阪税関 和歌山税関支署

〒640-8287

和歌山市築港6-2-2

和歌山港湾合同庁舎内

TEL 073-428-3882

大阪税関 和歌山税関支署

下津出張所

〒649-0101

海南市下津町下津3066-16

下津港湾合同庁舎内

TEL 073-492-0280

夏のオフィスの軽装革命

快適さ + 省エネ効果

夏

は、家庭でもオフィスでも、ついつい冷房に頼りがち。でも、ひんやりするくらい冷房を効かせ、上着を着ているのでは、エネルギーの無駄づかいです。地球温暖化が問題となっている今、一人ひとりの省エネ実践が大切です。今年もオフィスでも一歩進んだ省エネを始めませんか？

夏はエネルギーの消費量がピークを迎える季節です。一人ひとりのちょっとした心がけが、大きな省エネにつながります。

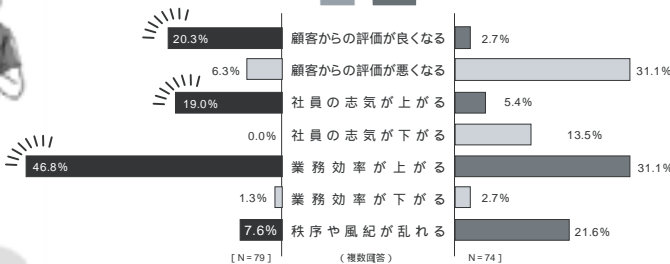
冷房は室温28を目安に
暑いと頼りがちなエアコン

28では少し暑いと感じる人もいるでしょう。しかし、上着を脱いで、ネクタイを外せば、体感温度は約2下がるといわれています。暑いと感じる人に合わせてエアコンの設定温度を低くすると、その分、消費電力が増えるうえ、寒いと感じる人は一枚はおらなくてはなりません。また、オフィスの室温を26から28にすると、冷房の消費電力のうち、約17%の省エネ効果があるといわれています。

半数以上の企業が
軽装を奨励

最近では、企業や行政のオフィスでも、快適に働けるよう、軽装を奨励しているところが増えており、同時に冷房の設

軽装化を奨励している企業
どんな影響がありましたか？



(財)省エネルギーセンター調査(平成16年)

ノーネクタイは失礼？
軽装を奨励していない企業

定温度を調整するなど、夏の省エネを進めています。その結果、3年間で、電力やガスの消費量が約20%も減少したところがあります。財団法人省エネルギーセンターが企業や自治体を対象に行ったアンケート調査によると、夏の軽装について、「奨励している」または「奨励する予定である」と答えた企業は、51%で、半数を超えています。夏の軽装を奨励している企業のうち、「ノーネクタイ」を奨励しているのは60%。「ノーネクタイ」はかなり浸透しているようです。また、「半袖のワイシャツやカジュアルスタイルもOK」という企業も目立つようになりました。

では、軽装することによって「顧客からの評価が下がる」「社内の秩序・風紀の乱れ」といったことを心配しているようです。しかし、すでに軽装を進めている企業では、軽装によってむしろ「社員の士気や業務効果が上がった」「顧客の評価が良くなった」と、プラスの影響を挙げています。企業の省エネ行動の環として、夏の軽装を奨励する企業が多くなっており、「ノーネクタイは失礼」という意識よりもむしろ、「環境にやさしい取り組みを実践している」ということで、外部からもプラスの評価を得ているのかもしれない。

今年から軽装！

6月から国の行政機関では、一斉に軽装を行っています。昨年までは、7月から軽装を行っていましたが、やはりじめじめした梅雨の季節も軽装の方が過ごしやすいようです。働く人も気持ちよく、地球にもやさしい、夏のオフィスの軽装革命。この夏、皆さんのオフィスでもはじめてみませんか。

水の事故・山の事故を防ぐ 夏のレジャーの安全点検

水の事故

海へ！山へ！川へ！夏はアウトドアでのレジャーを楽しむ人が多くなる季節です。その一方で、レジャー中に発生する水難や山岳遭難などの事故も、この時期に多くなっています。自然のなかでは、ちょっとした不注意が事故につながるものが少なくありません。事故に遭わない楽しいレジャーにするために、安全対策をきちんとしておきましょう。

海での事故、水泳中の事故が多い

平成16年夏期（6月～8月）に発生した水難事故の件数は787件、水難者数は935人で、そのうち死者・行方不明者数は、436人となっています。

水難事故の発生場所が一番多いのは、やはり「海」で、全体の半数以上をしめています。また、行為別では「水泳中」の事故がトップ、次いで「魚とり・釣り」、「水遊び」での事故が多くなっています。海や川など水辺のレジャーでは、遊泳禁止区域で遊んだり、波が高いときに海に出たりするなど、その人自身の不注意や無謀な行動が、水難事故につながります。楽しく遊ぶために、次のようなことをきちんと守りましょう。

水難事故を防ぐために

遊泳禁止区域では泳がない

遊泳禁止区域になっている

場所は、急に深くなったり潮の流れが速い「離岸流」があったりするなど、危険な区域

です。

悪天候のときは泳がない。海に出ない

高波にさらわれるなどの危険があります。

泳ぐ前に準備運動を

準備運動をきちんとしないと、足がつるなどしておぼれやすくなります。

お酒を飲んだら泳がない

お酒を飲んで海に入ると、心臓まひを起こしたり、おぼれたりする事故につながりやすくなります。

子どもだけで遊ばせない

子どもを水難事故から守るのは、大人の責任です。子どもが水辺で遊ぶときには、必ず大人が監視して、危険がないよう注意してください。



山の事故

山岳遭難者の約8割は中高年者

春から秋にかけては登山シーズン。なかでも7月～8月の夏山シーズンは、毎年山岳遭難が最も多くなる季節です。

平成16年夏期の山岳遭難の発生件数は353件遭難者は426人で、そのうち死者・行方不明者は51人、負傷者は241人となっています。年齢別で見ると、遭難者の約8割は40歳以上の中高年者で、死者・行方不明者でも中高年者が9割以上を占めています。

遭難の原因では、最も多いのが「転落・滑落」で、次いで「転倒」、「疲労・病気」となっています。特に、登山経験の浅い人の登山やハイキング気分での安易な登山が、山岳遭難につながりやすくなっています。夏山でも甘くみ

ないで、体力・装備ともしっかり準備をしてから登りましょう。

山岳遭難を防ぐために

事前準備をしっかりと

登山技術や体力、経験に合った山を選び、無理のない登山日程を計画しましょう。また、健康管理にも十分注意しましょう。

万全の装備で出かける

夏山登山では日射病を予防

するために帽子は必須です。また、山の天候は変わりやすく、ふもとでは晴れていても山頂では雨が降っていたり、寒かったりします。防寒具や雨具なども持参するなど、万全の装備で出かけましょう。

単独登山の自粛

単独登山は、事故に遭っても救助を求めることができないため、遭難時の死亡率も高くなっています。登山経験の豊かな人とパーティを組んで登山しましょう。緊急時の連絡手段を確保する

無線機や携帯電話など、緊急時の連絡手段となるものを持つていきましょう。携帯電話の予備バッテリーも準備してください。

入山前に登山届の提出を
登山届の提出は、安心登山の第一歩です。登山届は、万一遭難したときに、救助隊が遭難者を発見・救出するためのものです。登山口に設置してある登山届入れから投函できます。

